

世界にチャレンジし続ける グローバル都市

“OITA”



ラグビーワールドカップ2019™日本大会
大分会場の様子

2021年度
(令和3)
}
2024年度
(令和6)

第4次大分市国際化推進計画

4th Oita City Globalization Promotion Plan

国際化の現状

日本の現状

■少子高齢化

日本の総人口は 2008 (平成 20) 年をピークに減少しており、少子化の進行により、減少に歯止めがかからない状況となっています。

また、高齢化の進行も世界に類を見ない速度ですすんでおり、超高齢社会の到来は、地域コミュニティや自治体経営に様々な影響を及ぼす可能性があります。

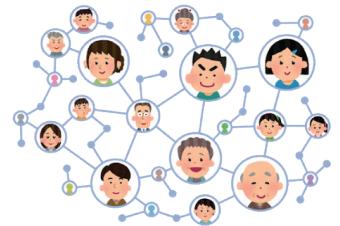


■情報社会

パソコンやスマートフォンなどの情報通信機器の普及により、SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) *が新たな交流手段としての役割を果たすなど、生活に密着した多くのサービスがインターネットを介して提供されるようになり、情報への依存度がますます高まっています。

※SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

会員制のウェブサイト上で職業・趣味・写真・文章などを公開し、会員同士で交流できる機能を提供するサービス。



■グローバル化

企業の国際的な競争の激化、外国人旅行者の増加によるインバウンド*需要の高まりなど、社会経済活動のグローバル化が拡大しており、世界経済の動向が直接、地域経済に影響を及ぼす時代になっています。

※インバウンド

外から入ってくる旅行。一般的に「訪日外国人旅行」を指す。日本人の海外旅行は「アウトバウンド」という。



大分市を取りまく状況

■超高齢社会

本市の人口は、2016 (平成 28) 年をピークに人口減少局面に入っており、現在と比べて 2045 (令和 27) 年には、本市の総人口が減少する一方で、老年人口 (65 歳以上) は約 2.4 万人増加し、高齢化率は 36% に達すると予測されています。

■外国人数

本市に住む外国人数は、3,506 人 (2021 (令和 3) 年 2 月現在) で、総人口と比べた割合では、0.73% と全国平均の 2.3% と比べ、低くなっています。在留資格別で見ると、「留学」が全国平均と比べて高く、また近年は「技能実習」の割合が増えています。

■ラグビーW杯

2019 (令和元) 年に開催されたラグビーワールドカップ 2019™ 日本大会では、大会期間中、中心市街地はかつてないほどの外国人観光客であふれ、多くの市民が世界中の人々と感動を共有するなど、国を超えて交流を深めることができました。

■市民意識調査の実施

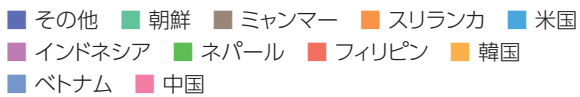
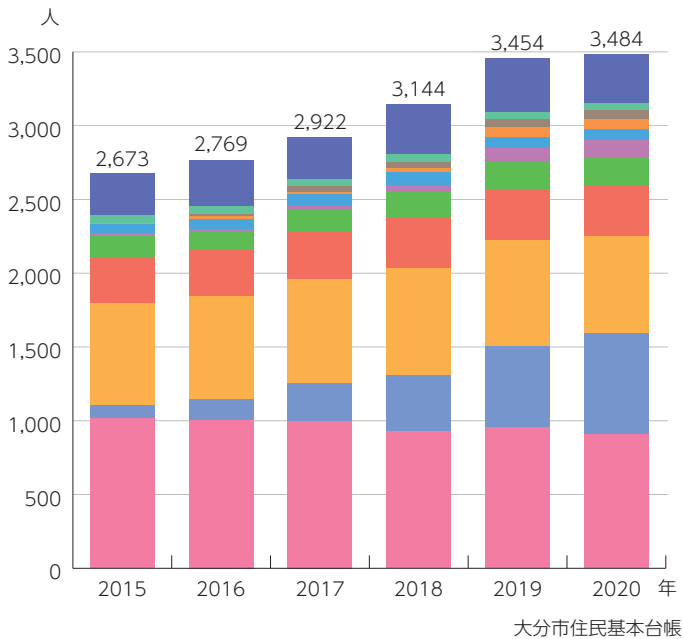
市民意識調査では、「グローバル人材の育成に力を入れるべき」「海外との経済交流による地域活性化に期待する」など、本市の国際化に関する多くのご意見をいただきました。

※市民意識調査の結果は、本計画の全体版をご覧ください。

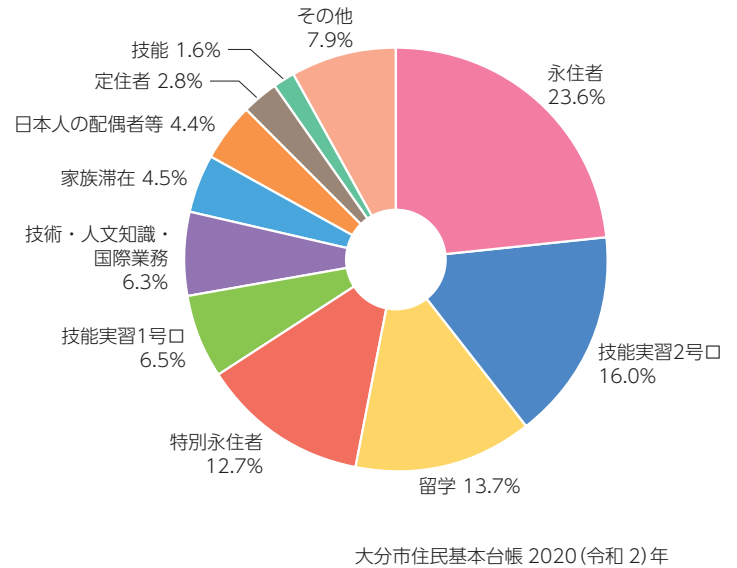


グラフで見る大分市の国際化の現状

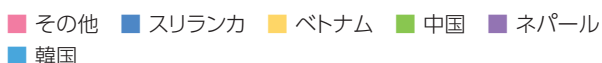
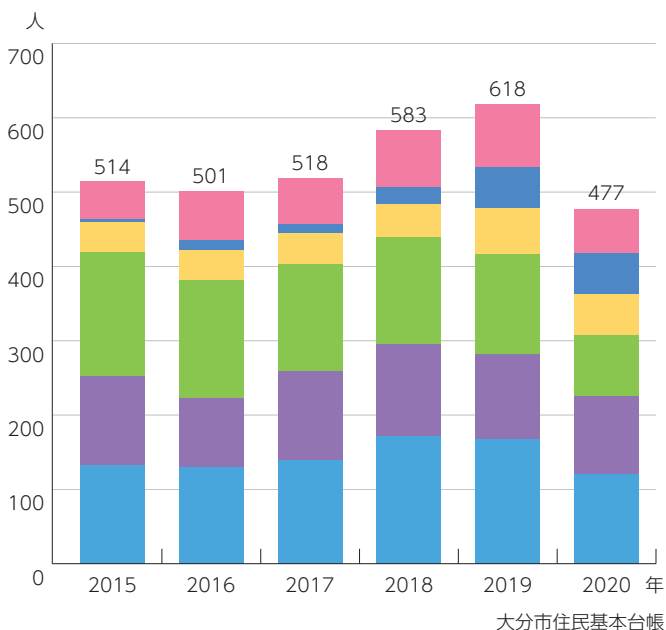
大分市に住む外国人数の推移



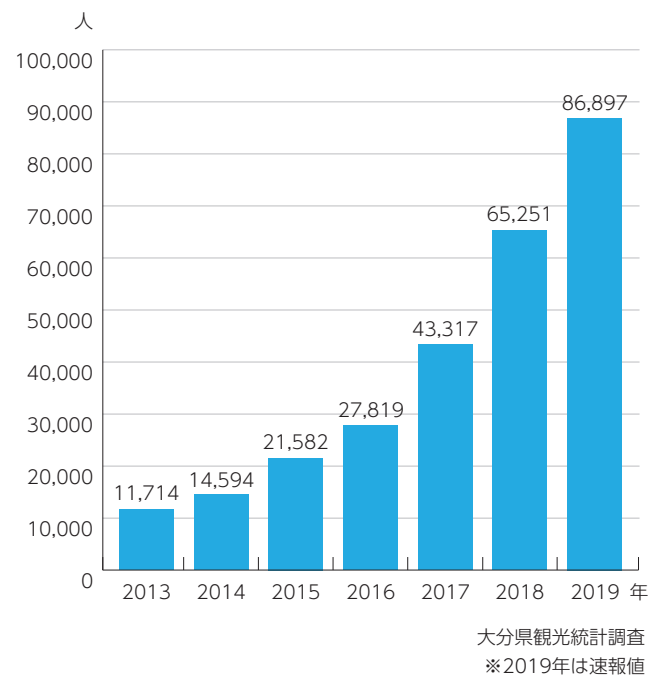
大分市の在留資格別外国人数の割合



大分市の外国人留学生数の推移



大分市の外国人宿泊客数



計画の体系

■計画の位置付け

本計画は、市政運営上の最上位計画である「大分市総合計画(おおいた創造ビジョン2024)」に基づき、本市の国際化の推進を具現化するために策定するものです。

■計画期間

2021(令和3)年度～2024(令和6)年度

基本理念

世界にチャレンジし続ける グローバル都市“OITA”

基本方針

地域の発展や課題の解決に向け、国際交流・国際協力を推進するとともに、グローバル人材の育成や共生社会の実現に取り組みます。

また、民間の活動を積極的に支援するなど、市民との連携により、本市の個性や魅力を生かした国際化を推進します。

推進テーマ

推進テーマ①

〈国際交流・国際協力〉

多彩な国際交流・国際協力によるまち・ひとの活力の創出

国際交流の主役である市民や団体、企業などが多彩な国際交流・国際協力・経済交流を通じて相互に長所を活かし、それぞれが魅力を高めることにより、新たな地域活力を創出します。

施策1 グローバル人材の育成

目標①: 外国人と交流し、世界へ目を向けよう

目標②: 国際化の情報に関心を持とう

施策2 国内外から人々を惹きつける魅力あふれるまちづくり

目標①: 国際色をプラスし「まち」ににぎわいをつくろう

目標②: 海外からの観光客を「おもてなし」し、大分市のファンを増やそう

施策3 地域の産業の活性化につながる国際ビジネスの推進

目標①: 海外ビジネスにチャレンジしよう

施策4 持続可能な世界の実現のための国際協力・国際貢献の推進

目標①: 身近でできる「国際協力」から始めてみよう

推進テーマ②

〈多文化共生〉

外国にルーツを持つ人々も暮らしやすいまちづくり

外国にルーツを持つ人々^{*}も含めたすべての市民が地域社会の一員として支え合い、多様な文化や価値観を尊重しながら、持てる力を最大限に発揮できるまちづくりを目指します。

施策5 人権尊重を基調とした多文化理解の促進

目標①: 国際化・多文化共生イベントに参加しよう

施策6 あらゆる国籍の人々がともに活躍できる環境づくり

目標①: 外国にルーツを持つ人々も暮らしやすいまちにしよう

施策と目標

^{*}外国にルーツを持つ人々

外国籍を有する人、両親またはそのどちらか一方が外国出身者である人、海外で生まれ育った日本国籍の人など、外国につながりを持つ多様な人々のこと。

施策と目標

施策 1

グローバル人材の育成



青少年国際理解推進事業
[WORLD QUEST in OITA]

■これまでの取り組み

青少年が世界に目を向け、コミュニケーション能力を高める機会として、学校では外国語指導助手(ALT)*が授業へ参加し、交流を行っています。また、様々なイベントを通し青少年が外国人と触れ合う機会を提供しています。

※外国語指導助手(ALT)

小学校、中学校における外国語等の授業や活動の補助を行う外国人。

これまでの主な取組例

- 青少年国際理解推進事業
- 留学生活用事業
(おでかけENGLISH)
- 幼稚園、小学校、中学校
ALT派遣事業
- 公民館での各種交流事業
など…

■目標

- ① 外国人と交流し、
世界へ目を向けよう
- ② 国際化の情報に関心を持とう

■将来像

視野を世界に広げ、チャレンジ精神や多様性*を受け入れる力が身につきます。

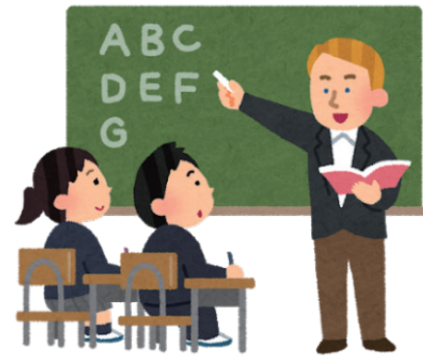
※多様性

ここでは、多国の文化や習慣などの様々な違い。

数値目標

外国人と交流する事業
に参加した子どもの数

43,000人
(2024年度)



施策 2

国内外から人々を惹きつける魅力あふれるまちづくり



おおいた夢色音楽祭
オースチン市ミュージシャン

■これまでの取り組み

ラグビーワールドカップ 2019™ 日本大会では、多くの外国人観光客が訪れ、伝統文化の紹介やボランティア等によるおもてなしにより、大分市のファンを増やすことができました。また、市民にとっても言葉を超えて一緒になって盛り上がった経験が、忘れないレガシーとして残りました。

これまでの主な取組例

- 「おおいた夢色音楽祭」海外ミュージシャン招へい事業
- 大分国際車いすマラソン
- フィジー共和国文化交流事業
- 無料公衆Wi-Fiスポットの拡大
など…

■目標

- ① 国際色をプラスし「まち」ににぎ
わいをつくろう
- ② 海外からの観光客を「おもてな
し」し、大分市のファンを増やそう

■将来像

本市の魅力を国内外に発信し、国内外の人々から活力を取り込むことで、まちの活性化につながります。

数値目標

姉妹友好都市をはじめ
とした海外都市との交
流件数

100件
(2021~2024年度の累積)



施策 3

地域の産業の活性化につながる国際ビジネスの推進



海外ビジネスセミナー

これまでの取組み

海外への新たな販路拡大にチャレンジする企業に対し、ジェットロ等の支援機関と連携し、商談会や交流会、展示会を実施してきました。

目標

① 海外ビジネスにチャレンジしよう

これまでの主な取組例

- 海外向け販路拡大商談会の開催
- 姉妹友好都市へのビジネス展開のサポート
- 展示会等への参加に対する支援 など…



中国国際博覧会(上海)大分市ブース

将来像

大分市が誇る産品などの地域資源や多種多様な観光資源などを世界に向けて発信することで、地域経済活性化につながります。

数値目標

海外展開支援件数

200件

(2020～2024年度の累積)

※「大分市総合計画第2次基本計画(2020～2024年度)」目標値
目標値の年限は、大分市総合計画に準じます。

施策 4

持続可能な世界の実現のための国際協力・国際貢献の推進



おおいた国際協力啓発月間
国際関係団体パネル展示

これまでの取組み

友好都市中国武漢市との間で環境分野における協力・交流事業を展開するなど、これまでさまざまな分野において本市が持つ技術やノウハウを活用しながら、国際協力を推進しています。

また、国際関係団体、機関等と連携し、市民レベルにおける国際協力の活発化に向けた取り組みも行っていきます。

これまでの主な取組例

- おおいた国際協力啓発月間事業
- 友好都市武漢市との大気環境改善事業、ごみ分別・減量促進事業、水質環境改善事業
- 消防車コンゴ共和国寄贈・技術指導
- 日本・タイ知識交流セミナー(ごみ減量支援) など…

目標

① 身近でできる「国際協力」から始めてみよう

将来像

国際協力・国際貢献活動に取り組むことで、持続的な世界の平和・発展につながるとともに、本市の魅力の発信や様々な分野における発展につながり、ひいては地域の発展へとつながります。

数値目標

国際関係団体や市民への国際協力事業サポート件数

35件

(2021～2024年度平均値)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs(持続可能な開発目標)17のゴール

施策 5

人権尊重を基調とした多文化理解の促進



おおいたワールドフェスタ



これまでの取組み

文化や習慣などの異なる人々が、お互いの違いを理解し、対等な関係を築きながら地域社会の構成員としてともに暮らしていくために、多文化理解を進めるイベントを開催してきました。

これまでの主な取組例

- おおいたワールドフェスタ
- おおいた国際協力啓発月間事業
- 多文化共生出張講座
- 各公民館主催国際化・多文化共生関連イベント

など…

目標

- ① 国際化・多文化共生イベントに参加しよう

将来像

市民が多文化理解に関する知識と認識を深め、人権尊重を基調とした差別をしない、させない多文化共生社会が実現します。

数値目標

国際化・多文化共生
イベントへの参加者数
38,000人
(2020～2024年度平均値)

※「大分市総合計画第2次基本計画(2020～2024年度)」目標値
目標値の年限は、大分市総合計画に準じます。

施策 6

あらゆる国籍の人々がともに活躍できる環境づくり



留学生向け生活オリエンテーション

これまでの取組み

外国にルーツを持つ人々も地域で活躍できる環境を整備することで、積極的に外国にルーツを持つ人々の地域社会への参加を促すなど、地域全体の在り方を見据えた新しい地域社会のシステムづくりをしています。

これまでの主な取組例

- 外国人来庁者への多言語対応
- 留学生向け生活オリエンテーション
- 留学生向けゴミ分別指導・啓発の講習会

など…

目標

- ① 外国にルーツを持つ人々も暮らしやすいまちにしよう

将来像

あらゆる国籍の人々がともに地域を支え、それぞれの持てる力を最大限発揮することで、だれもがふるさとと思えるまちになり、地域の持続的な発展につながります。

数値目標

多言語による大分市
からの情報発信件数

200件

(2021～2024年度の累積)



大分市の海外の姉妹友好都市

ポルトガル共和国 アベイロ市

姉妹都市

提携日 1978(昭和53)年10月10日

16世紀半ばの大友宗麟の時代からポルトガルとの交流が盛んに行われ、西洋文化が開花したという歴史的背景を踏まえ、1978(昭和53)年に姉妹都市の提携を行いました。

2018(平成30)年には提携40周年を迎え、記念事業としてアベイロ市の中学生のサッカー訪問団を受け入れ、交流試合やホームステイを通じた青少年交流を行いました。



中華人民共和国 湖北省 武漢市

友好都市

締結日 1979(昭和54)年9月7日

1974(昭和54)年から武漢鉄鋼コンビナートの近代化プロジェクトにより、武漢市から延べ200人の技術者が本市に長期間滞在し、また本市からも数多くの技術者が派遣されるなど、市民間の往来が次第に頻繁となったことが契機となり、1976(昭和51)年に大分市長が武漢市を訪問し友好都市締結の申し入れを行い、1979(昭和54)年に調印式を行いました。

締結以来、文化、経済、青少年交流など、さまざまな分野で活発に交流を行っており、2019(令和元)年には締結40周年を迎えました。



アメリカ合衆国 テキサス州 オースチン市

姉妹都市

提携日 1990(平成2)年10月30日

大分県でテキサス会議が開催されるなど、大分県とテキサス州の交流が活発であったことに加え、オースチン市とは産業・文化面で類似していることから、姉妹都市の提携を行いました。

これまで、オースチン市ミュージシャンを受け入れ、おおいた夢色音楽祭で演奏するなどの音楽交流を行ったり、オースチンマラソンに本市選手を派遣、また別府大分毎日マラソン大会でもオースチン市選手を受け入れるなどの交流を行い、2020(令和2)年には提携30周年を迎えました。

